

## 『水と緑と心が結びあう

## 未来に輝くまち もとみや』の実現に向けて



本宮市長

高松 義行

現在、わが国は、本格的な人口減少社会の到来や急速な高齢化の進展、地球温暖化問題、社会経済のグローバル化、景気低迷や雇用形態の多様化等に伴う経済格差の拡大など、様々な課題に直面しております。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災や原子力災害は、本市に甚大な損害を与え、特に原子力災害は健康への不安や風評被害をもたらし、放射能除染、健康管理、子どもたちの体力向上、風評被害の払拭などが喫緊の課題となっています。

このような厳しい状況ではありますが、本市は、福島県の中央に位置し、東北自動車道と国道4号が南北に走り、東北自動車道と磐越自動車道が交差する郡山ジャンクションが近接する交通の要衝という恵まれた立地条件と豊かな自然に囲まれた利便性の高い暮らしやすいまちです。この優位点を活かし、福島の元気を「福島のへそのまちもとみや」から全国へ発信していくことが重要と考えております。

震災以降、復興・再生に向け、放射能除染、健康管理、風評被害対策等をはじめ、スマイルキッズパークの設置、企業誘致、さらには埼玉県上尾市との友好都市協定、同市や全国へそのまち協議会加盟市町村との災害時応援協定の締結を行いながらの交流事業など、様々な取り組みを行ってきました。

今後は、復興への歩みを加速させ、市民の皆さまが真の復興を実感するとともに、震災前よりさらに飛躍した定住につながる住みよいまちづくりを進めるため、本宮市第1次総合計画をより実効性のある計画とするよう、基本構想を見直した上で、後期基本計画を策定いたしました。

市民の皆さま、地域の皆さま、事業所の皆さまにおかれましては、あらゆる主体が手を携え、「水と緑と心が結びあう未来に輝くまち もとみや」を実現するよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりましてご尽力いただきました本宮市総合計画審議会の皆さまをはじめ、貴重なご意見・ご提言をいただきました方々に心から御礼申し上げます。